

『水都史』で見る 桐生の都市像

～「水」で紐解く桐生の歴史～

2016年 **12月13日** [火] 13:00～17:30

場所 桐生市商工会議所6F ケービックホール
(桐生市錦町3丁目1-25)



プログラム

基調講演1 世界と桐生を結ぶ「水都」の比較研究

陣内 秀信 教授
(法政大学デザイン工学部)

2 桐生における水力発電の黎明・日本織物株式会社発電所

佐羽 宏之 氏
(三立応用化工株式会社 代表取締役社長)

研究発表1 水車利用の歴史から見る織物産業都市・桐生の形成過程

堀尾 作人 氏
(法政大学デザイン工学研究科建築学専攻博士課程)

2 これからの桐生を市民の力で元気にしていくために

北村 正貴 氏
(NPO法人キッズバレイ)

パネル
ディスカッション 「水の視点で見る桐生の面白さと今後の桐生の将来像について、
客席の皆様とともに意見交換します。」

入場無料

どなたでも
参加できます



プログラム

13:00~13:15

イントロダクション：ごあいさつ

基調
講演 1

13:15
〜
13:45

世界と桐生を結ぶ「水都」の比較研究

産業革命初期、イギリス・アメリカには水力を機械動力に用いる近代工場が現れ、水力産業都市を形作りました。そのシステムは明治の桐生にも意外な共通点が見出され、今まで知られてこなかった世界と桐生を結ぶ「水都」の姿が明らかにされようとしています。水利用の視点から都市の成り立ちを比較研究し、「水都学」を拓いてきた法政大学の陣内教授が講演します。



法政大学デザイン工学部
陣内秀信 教授

基調
講演 2

13:45
〜
14:05

桐生における水力発電の黎明・ 日本織物株式会社発電所

明治期の桐生に設立した、当時の国内最大級の近代織物工場、日本織物株式会社が建設した巧みな水力利用システムを、当研究会メンバーで日本織物株式会社創業家末裔の佐羽宏之氏が講演します。



三立応用化工株式会社 代表取締役社長
(日本織物会社創業家末裔)

佐羽宏之氏

研究
報告 1

14:15
〜
14:45

水車利用の歴史から見る 織物産業都市・桐生の形成過程

水路と燃糸水車の調査をもとに、桐生における二つの用水路(赤岩用水、大堰用水)の水利用と織物産業発展および都市形成の深い関係を法政大学陣内研究室の堀尾が紹介します。



法政大学デザイン工学研究科博士課程

堀尾作人氏

研究
報告 2

14:45
〜
15:05

これからの桐生を 市民の力で元気にしていくために

桐生の古写真をもとに過去と現在の暮らしを比較します。また、深刻な人口減少に対し、いかにしてまちづくりに取り組んでいくかを紹介します。



NPO法人キッズバレイ

北村正貴氏

パネル
ディスカッション

15:15~17:30

水の視点で見る桐生の面白さと今後の桐生の将来像について、
客席の皆様とともに意見交換します。

—パネラー7名—



法政大学
デザイン工学研究科
建築学専攻
陣内秀信 教授



群馬大学理工学研究院
機械システム工学専攻
天谷賢児 教授



NPO桐生地域情報
ネットワーク副理事長
長田克比古氏



株式会社桐生再生
代表取締役
清水宏康氏



桐生市立図書館
調査係主査
小野里一氏



NPO法人キッズバレイ
代表
星野麻実氏



法政大学デザイン
工学研究科建築学専攻
博士課程
(パシフィック
コンサルタンツ株式会社)
堀尾作人氏